

# 第3回 香川県高等学校ゴルフ対抗戦

主催：香川県高等学校ゴルフ連盟

期日：平成27年10月30日(金)～11月1日(日)

場所：高松ゴールドカントリークラブ

## 《 競技の条件 》

### 1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

### 2. 競技委員会の裁定

競技委員会は、競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

### 3. 使用球の規格

競技者の使用球は R&A 発行の最新の公認球リスト (JGA ホームページ参照: [mm.jga.or.jp](http://mm.jga.or.jp)) に記載されているものでなければならない。この条件の違反の罰は、競技失格。

### 4. ドライビングクラブ

競技者がラウンド中に持ち運ぶドライバーは R&A ノトルズリミテドの発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに名前が掲載されているクラブヘッド(モデルやロフトによって識別される)を有していなければならない。違反の罰は競技失格。

※「最新の適合ドライバーヘッドリスト」とは競技が開催される週の火曜日に R&A のホームページ上に掲載されているリストとする。

### 5. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b・c・d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければその競技者は競技失格とする。

この条件の違反の罰は競技失格(ゴルフ規則 6-8b 注)。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレーの中断：短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

### 8. 順位の決定

1 日 18 ホール、2 日間合計 36 ホールズ・ストロークプレーで 1 チーム 4 名(補欠 1 名)による団体戦とし、以下の手順にて順位を決定する。

(1) 各チーム 4 名のうち各日上位 3 名の 2 日間合計の総ストローク数の少ないチームを上位とする。

(2) すべての順位決定において、(1)の総ストローク数が同数の場合は、2 日間の 4 名の合計ストローク数の少ないチームを上位とする。

(3) さらに同数の場合は、優勝チーム決定の場合のみ、競技委員会の指定するホールで、代表 1 名によるホールバイホールによるプレーオフを行う。但し、プレーオフが行えない場合は競技委員会の定める大会日の 4 人の総ストローク数によるマッチングスコアカード方式にて順位を決定する。

(4) また、参加申込が 1 チームのときは競技を行わず、優勝とする。

### 9. 移動

本競技では、プレーヤーのゴルフカートの使用を認る。

### 10. ラウンド中の共用ゴルフカートの使用について

共用のカートはプレーヤーの携帯品とし、球が関連している時はすべてその球の持ち主の携帯品とみなす。但し、そのカートを共用しているプレーヤーの一人の特定の指示により運転している場合は、そのカートとカートに乗っている人や物はすべてそのプレーヤーの携帯品とみなす。カートへは目土袋を除く携帯品を積載することができる。

## 《ローカルルール》

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。  
(現にプレー中のホールの境界を示す白杭を越えてその先方へ出た球は全て OB とみなす。)
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
3. ラテラルウォーターハザードは赤線及び赤杭をもってその限界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. グリーンに近接する動かさない障害物  
動かさない障害物による障害からの救済はゴルフ規則 24-2 により受けることができる。加えて、球がグリーン外のハザード内でない所にある場合で、動かさない障害物が(イ)グリーン上か、またはグリーンから 2 クラブレンジス以内にあり、(ロ)球からも 2 クラブレンジスの範囲内で、しかも(ハ)球とホールの間のプレーの線上にかかっているときは、プレーヤーは次のような救済を受けることができる。その球は拾い上げて、(a)ボールに近づかずに、(b)障害物の介在が避けられる、(c)ハザード内でもグリーン上でもない場所で、球のあった箇所に最も近い所にドロップしなければならない。拾い上げた球はふくことができる。このローカルルールの違反の罰は、2 打。
7. 電磁誘導カート用の 2 本軌道(わだちも含む)は、すべて動かさない障害物とし、ゴルフ規則 24-2b の救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2 打。
8. ホールとホールの間での練習禁止  
競技者はプレーをおえたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークした場合、競技者は次のホールで 2 罰打を加えなければならない。但し、そのラウンドの最終ホールのときは、競技者はそのホールで罰を受ける。
9. ハーフターン時の練習禁止  
競技者はハーフターン時にパター以外の練習をしてはならない。このローカルルールの違反の罰は、競技失格。
10. ティマークは、男子は 6,466Y(紫色旗)、女子は 6,059Y(橙色旗)とする。

## 【注意事項】

1. 開会式、閉会式について出場選手は全員出席すること。(開会式：ユニフォーム、閉会式：制服)  
※ユニフォームは、日本高等学校ゴルフ連盟ユニフォーム規定を適用する。
2. 競技の条件及びローカルルールに追加、変更があるときはスタート室前に掲示して告知する。
3. チームオーダーは、1 日目については指定練習終了後 2 日目については 1 日目の競技終了後 30 分以内に提出すること。
4. 練習はそれぞれ指定された練習場にて行うこと。
5. 大会当日、選手は自分のスタート時刻 10 分前には必ずティインググラウンド周辺に待機すること。
6. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意すること。プレーの不当な遅延についてはペナルティを課すことがある。
7. ラウンド中競技者は、部外者を近づけないよう十分留意すること。これを怠ると規則 8 により罰せられることがある。
8. 9 ホール終了後、プレーの遅延にならない限りクラブハウスに立ち入ることができる。
9. 練習日は参加申込後～ 10 月 29 日(木)の期間とするが、必ずコースのフロントまで予約をすること。
10. フロント受付時に生徒手帳を提示すること。
11. ラウンド中、「JGA ゴルフ規則書(2015 年度版)」及び「競技の条件・ローカルルール」、目土袋(スコップ)、グリーンフォークの携帯を義務付け、携帯していない場合は、競技を開始することが出来ない。
12. ラウンド中、携帯電話など電子機器の使用を禁止する。
13. グリーンへ著しく損傷を与えるゴルフシューズは使用禁止とする。

## 【引率教員、保護者、ギャラリーの方へのお願い】

打撃事故防止のためコース内の立入りは、1 番、10 番、のティインググラウンド、9 番、18 番グリーン周辺に限らせていただきます。クラブハウス内食堂はご利用いただけます。ご利用の際は選手のサインかフロントにて現金でご精算願います。

競技委員会／香川県高等学校ゴルフ連盟